

数理科学研究科

I 教育の水準 教育 24-2

II 質の向上度 教育 24-4

I 教育の水準（分析項目ごとの水準及び判断理由）

分析項目 I 教育活動の状況

〔判定〕 期待される水準を上回る

〔判断理由〕

観点1-1「教育実施体制」について、以下の点から「期待される水準を上回る」と判断した。

- 運営諮問会議において、当該研究科の女子学生比率が低いことを指摘されたことを踏まえ、女性研究者のロールモデルを示すため、女性教員を5名採用するとともに、女性数理科学研究者の支援のためのウェブサイト「数理女子」の運営支援等に取り組んでいる。
- 平成23年度から「統計財務保険演習 I、II」を開設し、金融機関やIT系企業が求める数理科学の高度な知識を持つ人材の養成に取り組むなど、運営諮問会議からの指摘を踏まえた対応を行っており、教育内容の見直しと改善等を行う体制が機能している。

観点1-2「教育内容・方法」について、以下の点から「期待される水準を上回る」と判断した。

- 平成23年度に採択された、数物フロンティア・リーディング大学院プログラム（FMSP）により、社会から要請の大きいファイナンス、アクチュアリー（保険数理）、統計関係の講義の充実を図るなど、社会連携、分野融合的な教育研究体制の強化に取り組んでいる。また、平成27年度は約半数の学生はFMSPコース生として活動している。
- 第2期中期目標期間（平成22年度から平成27年度）の学習時間アンケート調査の結果では、セミナー科目の学習時間（平均30.6時間/週）は、講義に要する学習時間（平均5.2時間/週）の約6倍となっている。

以上の状況等及び数理科学研究科の目的・特徴を勘案の上、総合的に判定した。

分析項目Ⅱ 教育成果の状況

〔判定〕 期待される水準を上回る

〔判断理由〕

観点2-1「学業の成果」について、以下の点から「期待される水準を上回る」と判断した。

- 平成22年度から平成26年度の修士論文について、世界的レベルの欧文専門誌に平成27年8月までに49件が掲載されている。特に、平成24年度は、52名の修士論文のうち19名の論文がトップジャーナルに掲載されている。
- 第2期中期目標期間に、総長賞を5件（うち1件は総長大賞）、日本学術振興会育志賞を3件受賞している。また、日本学術振興会特別研究員（DC1及びDC2）に187名の博士課程学生が採用されている。

観点2-2「進路・就職の状況」について、以下の点から「期待される水準にある」と判断した。

- 第2期中期目標期間の博士後期課程学位取得者のうち76.3%はポスト・ドクターとなっているほか、大学教員や企業に就職している。
- 第2期中期目標期間の企業及び官公庁への就職者数は、修士課程で64名、博士後期課程で5名となっている。

以上の状況等及び数理科学研究科の目的・特徴を勘案の上、総合的に判定した。

II 質の向上度

1. 質の向上度

〔判定〕 高い質を維持している

〔判断理由〕

分析項目 I 「教育活動の状況」における、質の向上の状況は以下のとおりである。

- 平成 23 年度に採択された博士課程教育リーディングプログラム「数物フロンティア・リーディング大学院（FMSP）」により、社会から要請の大きいファイナンス、アクチュアリー、統計関係の講義の充実を図っている。
- 平成 26 年 12 月に数理キャリア支援室を設置し、キャリア・アドバイザーを置いており、「数理キャリアデザインセミナー」を年 1 回開催しているほか、キャリアパス構築のための各種支援を行うなど、社会連携と一体となった就職支援体制を構築している。
- 平成 25 年度に新設された数理科学連携基盤センター等の活動にも学生が参画するなど、広い視野から数理科学の教育を受ける体制を整備している。

分析項目 II 「教育成果の状況」における、質の向上の状況は以下のとおりである。

- 平成 23 年度に採択された博士課程教育リーディングプログラム「数物フロンティア・リーディング大学院（FMSP）」により、平成 27 年度において約半数の学生が FMSP コース生として活動している。

これらに加え、第 1 期中期目標期間の現況分析における教育水準の結果も勘案し、総合的に判定した。

2. 注目すべき質の向上

- 平成 26 年 12 月に数理キャリア支援室を設置し、キャリア・アドバイザーを置いており、「数理キャリアデザインセミナー」を年 1 回開催しているほか、キャリアパス構築のための各種支援を行うなど、社会連携と一体となった就職支援体制の構築を図っている。
- 平成 25 年度に新設された数理科学連携基盤センター等の活動にも学生が参画するなど、広い視野から数理科学の教育を受ける体制を整備している。
- 平成 23 年度に採択された博士課程教育リーディングプログラム「数物フロンティア・リーディング大学院（FMSP）」により、平成 27 年度において約半数の学生が FMSP コース生として活動している。